



apo

Product for Clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By CareerPower 株式会社 キャリアパワー

Vol. 92

2021.10 AUGUST

高度な専門知識を持ったスタッフを即戦力として活用できるのが外部委託のメリット

京都女子大学
図書館長
文学部国文学科教授
中前正志様

花園大学を経て1992年に京都女子大学赴任
2018年4月、図書館長に就任



1899年の顕道女学院を学園の創始とし、「親鸞聖人の体せられた仏教精神にもとづく人間教育」を建学の精神とする京都女子大学。2017年には図書館を全面リニューアルされ、階段状の吹き抜けを壁面書架が取り囲む圧巻のロケーションで、学生に学びの空間を提供されておられます。今回は、その京都女子大学図書館で館長を務めておられる中前正志様にお話を伺いました。

明治32年創始、建学の精神は図書館蔵書にも反映

明 治32年(1899)の顕道女学院開院が、京都女子学園の創始です。龍谷大学の前身である大学林で総理(学長)を務めた足利義山を父に持つ甲斐和里子が、仏教都市である京都に仏教主義による女学校を作りたいと、本願寺の門前に開院しました。しかし、翌年には、自らの志と理念を貫くため、学院を離れ、今度は、夫の駒蔵(虎山)とともに私塾「文中園」(後の文中女学校)を開きます。その後、明治43年(1910)には、本願寺第22世門主・鏡如(大谷光瑞)の裏方・大谷籌子(かずこ) 仏教婦人会総裁と、鏡如の妹の九條武子同会連合本部長の尽力あって、「京都高等女学校」になります。と同時に、甲斐夫妻は、その経営を仏教婦人会に移譲しました。それが、京都女子学園の創立です。大正3年(1914)には校地が現在地に移転されました。その後、

女子大学設置を申請しましたが許されず、大正9年(1920)に「京都女子高等専門学校」が開校します。それが大学の前身で、その開校を、京都女子大学の創基と位置付けています。悲願の「京都女子大学」開学が実現したのは、戦後の昭和24年(1949)のことでした。以上のような歴史を持つ本学は、親鸞聖人が顕らかにされた仏教精神にもとづく人間教育を、建学の精神としています。

こうした開学の経緯あるいは建学の精神は、図書館の蔵書に反映している面もあります。例えば、昭和50年代以降に九條武子コレクションが設置されていて、九條武子の歌集、絵画、草稿など100点以上から成っています。それらの中には、与謝野晶子の箱書がしばしば見られます。また、南画家でもあった甲斐虎山の作品も多数所蔵されており、虎山の絵に和里子が賛を加えたものも少なくありません。最近になって、虎山コーナーを設定して、虎山の掛幅作品を一点一点展示しています。純粋に作品を鑑賞し楽しんでもらおうと思っただけですが、また、建学の精神の浸透に繋がる面もあればという期待もあります。

キャンパスの中心に、多様な学生が集う滞在型の新図書館を開館

図書館の新築は、昭和の時代からの長年の課題でした。もとは図書館として建てられたのではない建物を図書館として活用していて、低い天井に張り出した梁に、私も赴任当初、かなり強く頭をぶつけた経験があります。その後、キャンパスの中央部に用地が確保でき、待望の新図書館が建築されたことは、一利用者としても大変有難いことでした。

キャンパスの中心に位置する新図書館は、開架閲覧スペースを中心とする「知恵の蔵」と、アクティブラーニングcommonsやメディアcommonsを設ける「交流の床」が中心となり、その間を、キャンパス全体を一体的に繋ぐ新たな坂道「京女坂」が貫く、という構造になっています。それぞれが多様な居場所を生み出し、キャンパス各所から多様な学生が集ってくる、そんな親しみやすい滞在型図書館を目指しました。

「知恵の蔵」は、本学が蓄積してきた知のアーカイブを活用しながら、知の集積が

体感できる学習あるいは研究の場としました。階段状の吹き抜け空間を中心とし、その周囲を壁面書架が取り囲んでいて、約21万冊の図書に包まれた圧巻の環境の中で学ぶことができます。「交流の床」は、多様な学生同士や学生と教職員との交流の場です。活動的な学習空間を設定するとともに、外部からも活動が見える2階は、カジュアルスタディスペースやカフェテラスを設けて、リラックスしながら勉強やミーティングのできる賑やかなコミュニケーション空間としました。地下には、自動化書庫などが広がっています。「京女坂」は、キャンパス内の動線通路としての役割を果たしつつ、それが生み出す、「坂上」「坂中」「坂下」の3層の「ひろば」が、イベントやサークル活動などさまざまなシチュエーションでの利用が可能なテラス空間を形成しています。

自動化書庫や閉架書庫に収蔵された65万冊の蔵書と、学生を中心とする利用者との距離を、どこまでいかにして縮めていくのかは、今後に残された一つの課題となっています。

図書館づくりには有志の学生たちも参加

図書館新築工事は約2年間にも及んで、工事中は特に学生に不便や迷惑をかける

ことになるため、逆に、普段触れることのできない工事現場を学びや経験の場として活用してもらおうと、有志の学生による「図書館建築キャンパスプロジェクト」を立ち上げました。具体的な活動内容としては、グループワーク、工事現場見学、学外の図書館見学、施工体験などです。設計者・施工者と連携しながら、そうした多岐にわたる活動を実施しました。また、学生が運営するカフェの空間のあり方やその運営・企画についても検討しました。

学生にとっては、通常ではできない貴重な経験をすることができて、正課とは違った学びの場になったと思います。また、学年や学部を超えた友達ができるなどの効果も見られました。

コロナ禍でもサービスを提供 オリジナルマスクカバーも配布

コロナ後は、ソーシャルディスタンスを確保する観点から、閲覧席座数を減じて運用しています。また、定期的な消毒作業を一日数回実施してもいます。2020年度においては、そうした対策だけでは済まず、休館や限定開館を余儀なくされました。その際には、図書郵送サービスや文献複写郵送サービスを実施し、休館中もそれらサービスを利用者に提供しまし

た。さらに、オンラインでのレファレンスサービスも開始しています。あるいは、様々な貴重書の写真を載せてデザインした、オリジナルのマスクカバーを作成し、入館者などに配布したりもしました。若い学生さんたちに少しでも感染対策意識を高め

てもらえれば、と願ってのことです。

なお、新図書館の運用体制が固まってきた頃でしたので、特にアクティブラーニング commons の十分な活用など、図書館利用の更なる活性化に向けての取り組みの検討を始めていましたが、コロナ禍により一旦休止せざるを得ませんでした。2年ほど前からアクティブラーニング commons の一角に貴重書展示コーナーを設置していましたが、そこでの展示も休止しました。ただ、談話可能なスペースにある展示コーナーですから、受講生が少人数であれば、展示ケースを囲んで授業をすることも可能で、コロナ終息後にお



貴重書の写真をレイアウトしたオリジナルマスクカバーを配布。

けるアクティブラーニング commons 活性化の一つのきっかけにでもならないものかと、微かな期待を抱いています。

コロナ禍のため、対面授業がオンライン授業になったこと、また、対面授業が再開されて以降も、オンラインを併用するハイブリッド型授業などが依然少なからず存在していることにより、コロナ前と比べて入館者は、大幅にあるいは相当に減少しています。当然、貸出冊数なども減少していますが、一方で、コロナ前には不可としていた、開館時間中のブックポストへの返却を認め、常時返却可能に変更しましたので、結果、ブックポスト利用は定着してきました。

感染に十分に留意しながら、図書館利用の更なる活性化をいかに実現していくのか、それが、今後の大きな課題となっています。

即戦力の経験者を複数揃えて もらえるのが外部委託の利点

図書館業務は非常に専門性の高い業務で、利用者サービスという観点から考えましても、高度な専門知識を持ったスタッフでなければ、効率良く的確な対応ができません。近年、電子資料の増加に伴い、紙の資料だけではなく電子資料の使い方も利用者サービスとして提供する必要が

あり、データベース等に対する専門知識も欠かせません。すなわち、時々の情勢にも対応し得る専門知識を持ったスタッフが揃ってはいはじめて、十分なサービス提供が可能となります。大学の事務職員を、そうしたスタッフとして育成するには時間がかかりすぎます。その点、外部委託の場合、即戦力の経験者を複数人揃えていただけるので、図書館にとっても、その利用者にとっても、メリットが非常に大きいと考えております。

また、今年度お願いしている特別業務におきましても、通常業務と連携しながら進めていただいておりますが、本学の状況をよく理解されたスタッフに統括していただいておりますので、大学からの指示が少なく済み、スムーズに進めることができている。誠に有難く、大変助かっております。

アウトソーシングすべきは、定型的な業務で、それを固まりとして委託できる部分だと考えております。その部分を委託することによって、運営方法から考えていただくことができ、その結果、そうした面におけるお持ちのノウハウを職員が学び、自らの業務の効率化に利用させてもらうこともできます。

学生ひとりひとりの立場に 立った図書館運営を

月並みな感じですが、大学は教育機関です。何にせよ、教育の対象である学生の立場で考えてみるのが、最も大切だと思います。そこからこそ、よりよい教育内容や教育方法も生み出されることでしょう。しかし、学生はひとりひとり異なっていて、しかも、様々な問題を抱えた学生が多くなってきているようにも思いますので、学生の立場で考えようとしても難しい面があるでしょうし、そうしたからと言ってうまくいくとも限らないでしょう。それでも、学生の立場で考えてみることの大切さは、常に念頭に置いておくべきかと思えます。

また、これは、スタッフに限らず学生も含めてのことですが、同じ教育機関でも、中学校や高等学校とは違って、大学が最先端の学問の場でもあるということ、大学人としては意識しておくべきなのではないかと考えます。学生には在学中に、そういう学問の世界に深く入り込んでほしいものです。そうすることが、資格などとはまた違う形で、卒業後の生涯における大きな財産を生むことになるのではないかと考えます。

大学図書館は、大学が教育機関であること、あるいは学問の場であることを前提

として、学生を中心とする教職員も含めた利用者へのサービスを提供しています。そのことを強く意識しつつ、利用者目線でよりよい図書館にするにはどうしたらいいかを考えていくことが、大切だと思います。

多くの図書館運営ノウハウを参考にさせていただいています

お世話になっています御社スタッフの皆さんは、さまざまな得意分野をそれぞれにお持ちですので、全体として幅広いことに対応していただいています。また、全国規模で図書館業務を請け負っておられる実績を基盤に、多数の情報を把握されているので、コロナ禍において図書館での対応を検討する際にも、リアルタイムな現場の状況なども教えていただけて、非常に助かりました。さらに、本学だけ

ではなく多くの図書館において業務を行われているため、ノウハウも多く保有されているので、参考にさせていただくこと、しばしばでもあります。

それぞれの立場から一緒に、よりよい図書館運営を考えていく、その実現の先にこそ利用者サービスの向上があると思っています。

ここ最近では透明人間に入れ込んでいます

もともと古寺散策などを趣味としていましたが、その後、寺院縁起などを含んだ仏教説話を中心の研究対象の一つとしましたから、趣味が仕事になってしまったところがあります。それで、私には特に趣味と言えるようなものはありません。ただ、ここ6、7年は透明人間に入れ込んでいまして、近日のうちには貴重書展

示コーナーで「透明人間あらわる!!」と題する展示をする予定です。小学生のころはウルトラマンやウルトラセブンあるいは怪獣に夢中でしたので、その延長戦上のものであるという感じです。還暦を過ぎても、精神的にあまり成長していないのかもしれないですね（笑）。



壁面書架を中心に21万冊の蔵書が並び、京都女子大学図書館の開架スペース。

Library Fair

第23回図書館総合展に今年も出展いたします

2021.11/1～11/30 オンライン及びサテライト会場にて開催

<https://www.libraryfair.jp>

昨

年よりオンラインで開催され、今年もオンラインを中心に小規模サテライト会場を組み合わせたハイブリッド開催となる図書館総合展。キャリアパワーは今年もこの図書館業界最大の展示会に出展。オンラインセミナーを中心に様々な企画を展開いたします。



京都女子大学図書館バーチャルツアーを開催します

開催：2021年11月(日程調整中) 事前申込制(近日中にキャリアパワーホームページ上で公開)

今号の巻頭インタビューでも触れております、京都女子大学図書館のバーチャルツアーを、大学様のご協力のもと図書館総合展期間内に開催いたします。当日は、図書館内部をライブカメラで撮影。普段は関係者以外なかなか入れない大学図書館の全容をお届けいたします。日程やお申し込み方法などにつきましては、近日中にキャリアパワーホームページで公開いたしますので、今しばらくお待ちください。



図書館セミナー(講演会)も開催予定です

開催：2021年11月(日程調整中) 事前申込制(近日中にキャリアパワーホームページ上で公開)

例年、有名大学の図書館関係者や研究職の方をお招きして実施しております、キャリアパワー主催講演会を今年も開催予定です。図書館にまつわる興味深い題材を今年も取り上げ、掘り下げて解説。講演者の先生や日程、お申し込み方法などは、近日中にキャリアパワーホームページで公開いたしますので、こちらも今しばらくお待ちください。



「私の図書館(本)」川柳コンテストを今年も開催

図書館総合展開催期間中に参加者の皆様の投票で最優秀作品が決定します

応募期間：2021年9月6日(月)～10月10日(日) <https://www.careerpower.co.jp/service/senryu2021/>



例年多くのご応募をいただき好評の「私の図書館(本)」川柳コンテストを今年も開催いたします。11月の開催期間中には、図書館総合展ご参加の皆様の投票により、最優秀作品を決定する予定です。ぜひともご参加ください。

大学図書館でサブリーダーにチャレンジ 図書館を取り巻く環境の変化に柔軟に対応してゆきたい



伊藤 奈菜さん
Nana Itou
愛知県内の大学図書館勤務
2019年4月～

旅行代理店勤務から 資格を活かした業務に転身

以 以前は旅行会社に勤めており、主に法人向けの企業出張業務等を担当していました。その後アルバイトを経て、学生時代に取得した司書資格を活かせる仕事を探していたところ、キャリアパワーの求人を見かけたのが登録のきっかけです。

今の職場では、図書館資料のコピーを他機関に依頼する「文献複写依頼」業務を

主に担当。カウンターでの資料の貸出・返却、レファレンス対応なども行っています。また、サブリーダーとなり、大学院生のラーニングアドバイザーさんや、学生アルバイトさんの勤怠管理なども担当しています。サブリーダーの打診を受けたときは、業務経験が浅いこともあり、不安もありましたが、業務の幅を広げたいと思い、チャレンジしました。

おだやかな雰囲気職場で 働いています

職場は、おだやかで親切な方が多く、落ち着いた雰囲気の中で仕事できています。働きだした当初はフルタイム勤務が久々だったこともあり、緊張していましたが、仕事の仕方などを丁寧に教えていただき、すぐになじむことができました。この雰囲気を大切に、新しく職場に入った方にも、自分がしてもらったときと同じように接したいと思っています。

仕事をする際に注意している点は、事務仕事では正確さ、レファレンスにおいては利用者目線で分かりやすく行うことです。また、変化への柔軟な対応もこれからは大切になってくると思います。たとえば、電子データ化した蔵書を利用者にメールで送信できるように著作権法が改正されるなど、図書館を取り巻く環境も変化が大きくなっています。こうした変化を受け入れ、面白さややりがいをもって仕事に取り組みたいと思っています。

今はまだ未熟な部分もありますので、まずは仕事をこれまで以上に早く正確にこなしてゆきたいです。そして、ゆくゆくは、より利用者の視点に立った図書館運営について考えてゆきたいと思っています。

困りごとや疑問に すぐに回答してもらえる

キャリアパワーの良いところは、困ったこと、疑問に思ったことに対してすぐに回答していただけることと、セミナーなどのスキルアップが充実していることです。博物館などの施設利用のチケットをいただけるのも嬉しい点で、これを利用して徳川美術館の特別展へ行きました。

趣味は旅行とゲームです。コロナ禍で旅行に行けなくなり、家にこもってゲームをしている時間が長くなりました。リングフィットアドベンチャーなどでできるだけ身体を動かすようにしてはいますが、やっぱり旅行、行きたいですね(笑)。休日には Youtube の旅動画を見ながら、コロナが落ち着いたら行きたい場所の情報収集をしています。動けるようになったら海外にも行きたい！ そのためには中断している英語の勉強を再開しないといけないかな。

■ Kyoto Intercollege Festa

第19回京都学生祭典を今年も応援します



昨 年は新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンラインでの開催となった「京都学生祭典」。2003年から続く産学官共同イベントを、キャリアパワーは第1回目より応援を続けています。今年はオンラインおよび平安神宮、岡崎公園一帯の両方で開催となり、近隣の方はもとより、全国、全世界からオンライン参加が可能です。学生たちのパワーを全身で感じる事ができるこの祭典、ぜひともご参加ください。

2021.10.10 開催

<https://www.kyoto-gakuseisaiten.com/>

京都女子大学監修

はたらくよろこび 作文コンクール

507件の中から優秀作品が決定しました

全国の小学生を対象に「はたらくよろこび」についての作品を募集しておりました「第一回はたらくよろこび作文コンクール」。京都女子大学の監修のもと、各地より応募いただいた総数507件の中から優秀作品12点が決定いたしました。

総評

未 来の夢、将来にしたい仕事について、具体的に書いた作品が、最も多かったです。それらの中には、夢を実現するための課題を冷静に見つめているものも少なくありませんでした。いずれにしても、それらからは、熱く純粋な思いが伝わってきました。一方で、はたらくよろこびや、はたらく意味について、懸命に真っすぐに向き合ってきた作品もありました。どういう内容にせよ、両親や先生など身近な大人から素直に学ぼうとする態度がしばしば見られたのも、印象的でした。このような皆さんの作文を読ませてもらって、すがすがしさに包まれ、心が洗われる思いがしました。

優秀作そして最優秀作を選考するのは、とても難しかったです。大変迷いました。よく書けている作品がたくさんあったからです。選ばれなかった作品の中にも、選ばれた作品と同じくらいに優秀な作品がいくつもありました。選ばれた人も選ばれなかった人も、今回作文を書いたことを一つのきっかけとして、これからも、自分の未来を思いえがきつつ、はたらくことについて考えを深めていってください。

最優秀作品 (低学年の部)

「はたらくこととお金としあわせと」

大阪信愛学院小学校3年 おく谷りんさん

現実的なお金の問題について調べ考えられているのが、とてもユニークでした。そして、調べ考えた結果として、はたらくこととお金としあわせが一つの輪になっているという結論をすじ道立ててひき出しているのが、おもしろく感心しました。また、その一方で、素直な気持ちがダイレクトに表現されているのも、好感が持てて良かったです。

最優秀作品 (高学年の部)

「ありがとうの一員に」

埼玉県 小学校6年 S・Kさん

「はたらく」ことの喜びあるいは意味について、「ありがとう」の一言に着目しながら、考えがよく深められていました。また、「すぐくみじめだった」体験を出発点として、考えが深められ、最終的に自らの目標が見定められていく、その過程が、それぞれに働く両親・祖父との会話を基軸とした形で、実に鮮やかに、また感動的に描けてもいました。

優秀作品 (低学年の部)

- 「みねこおばあちゃま」 仁川学院小学校1年 下田真奈さん
- 「しろバイたいいんになる」 1年 弘山紗菜さん
- 「じよさんしになりたい」 京都女子大学附属小学校2年 沼波明希さん
- 「心のべん強」 京都女子大学附属小学校3年 田仲那帆さん
- 「はたらくよろこび」 大阪信愛学院小学校3年 原田しいさん

優秀作品 (高学年の部)

- 「だれかのために働きたい」 箕面自由学園小学校4年 白濱美空さん
- 「私の仕事は小学生」 賢明学院小学校4年 山根葵緒さん
- 「命をつなぐ仕事」 京都女子大学附属小学校5年 遠山史桜さん
- 「お母さんの仕事」 京都女子大学附属小学校6年 浅田陽菜さん
- 「いざ！自分の未来へ出発！！」 箕面自由学園小学校6年 中岡悠さん

多くのご応募ありがとうございました。各優秀作品の講評は、右記QRコードからご覧いただけます。

<https://www.careerpower.co.jp/service/wconcoours-result/>



キャリアパワー各支社へは ☎ 0120-154-450 にお気軽にお問い合わせください

東 京	〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 15F	TEL 03-6895-2929	FAX 03-6895-2911
大 阪	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング2F	TEL 06-6346-2929	FAX 06-6345-1268
名 古 屋	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 3-25-9 堀内ビル8F	TEL 052-563-2929	FAX 052-563-3511
京 都	〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通烏丸西入東堀小路町 843-2 日本生命京都ヤサカビル4F	TEL 075-341-2929	FAX 075-341-3828
滋 賀	〒525-0037 滋賀県草津市西大路町 2-5 Nビル5F	TEL 077-516-2929	FAX 077-516-2930
システムセンター	〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160	TEL 075-344-6776	FAX 75-344-6780

発行

株式会社キャリアパワー

企画 / 制作

株式会社キャリアクリエイト

2021.8.15 発行

Vol.XVIII 授業目的公衆送信補償金制度について

教育機関に携わる方々が著作権と向き合う際、最近よく耳にする言葉が、「授業目的公衆送信補償金制度」ではないでしょうか。ICT（情報送信技術）を活用した教育を推進するために、著作物利用の円滑化と著作権者の利益保護のバランスを保つことを目的とした新たな制度、それが「授業目的公衆送信補償金制度」です。

媒体の多様化やITの著しい発展に伴い、学修や授業の在り方も多岐にわたって来ている昨今、このような制度が整うのはとても意義深い事といえます。オンデマンド授業で映像や資料を送信する場合、リアルタイムでの配信授業、先生方が授業用の資料を学生たちにメールで送信する場合、この制度が導入されたことによりどう変化するのか。ここでは、その内容をご紹介します。



※『教育のDXを加速する著作権制度』参考
https://sartras.or.jp/bunkachoshiryo_20210129

そもそも、この権利制限に関しては2006年に検討がなされながらも権利者と教育機関との利害調整は困難を極めた事などから、なかなか現実化には至りませんでした。その後、2018年ようやく制度創設の法案が可決され、2020年度4月よりスタートする事となったのです。そして迎えた2020年4月。新型コロナウイルスによる猛威を前に、大学の授業の在り方は大きく変化し、公衆送信を駆使した講義スタイルが盛んになる中、コロナ禍における特例として、2020年度に限り補償金が無償となった事は皆さんの記憶にも新しいと思います。現在(2021年度)は、有償での制度が開始されていますが、そこで重要になってくるのが管理協会であるSARTRAS(サートラス)です。

SARTRASは、授業ごとに手続きが必要であった著作物利用に関して総合窓口となり、コンテンツの定額利用サービスを管理する団体です。一括で処理を行うので教育現場では手続きがスムーズになり、利用の促進が期待されます。いっぽう、補償金は分配団体を通じ、権利者へ還元されるしくみから、クリエイターたちの創作を後押しすることにも繋がります。それが、著作物等の教育利用におけるクリエイション・エコシステムであり、今回の制度の大いなる主旨でもあるのです。SARTRASを介した補償金制度が導入された事で、実際の著作権許諾はどのように変わったのでしょうか。こちらの図をご覧ください。

開始前		授業目的公衆送信保証金制度（開始後）	
無償・無許諾 無償・無許諾で利用可	要許諾 個別の許諾を得る必要がある	無償・無許諾 無償・無許諾で利用可	無許諾・有償 文化庁が認可する補償金
複製	対面授業の予習復習用の資料をメール送信	複製	対面授業の予習復習用の資料をメール送信
一部公衆送信	オンデマンド授業で講義映像や資料を送信	一部公衆送信	オンデマンド授業で講義映像や資料を送信
遠隔合同授業等のための公衆送信	スタジオ型のリアルタイム配信授業	遠隔合同授業等のための公衆送信	スタジオ型のリアルタイム配信授業

このように、補償金制度を使うことで個々に許諾を得る必要があった利用が、無許諾・有償で活用できるようになった事が分かります。

SARTRASを通じて授業目的公衆送信補償金制度を利用する際は、教育機関の設置者が補償金を支払うことになり、手続きも、たとえば教授ごとにご登録頂くのではなく、学校法人等の教育機関設置者が行うものと著作権法で定められています。申請はSARTRASのウェブサイト内にて補償金当登録・申請システムTSUCA0(つかお)から行います。

ちなみに、気になる補償金額は、都度支払う場合は1回1人あたり10円。対象となる著作物、実演、レコード、放送、有線放送ごとの支払いとなっています。さらには、毎回の手続きが省ける年間包括払いもあり、大学生であれば1人あたり年間720円。公衆送信の回数は無制限で使用できるようになっています。(※著作権等管理事業者が、非営利教育機関に適用している公衆送信に係る使用料等を参考に算出。)補償金額は3年ごとに見直しを図る事になっていますが、授業のスタイルや利用頻度に合わせ、料金体系が選べるのは使いやすいですね。

利便性や使用料における公正性、権利保護の重要性を満たしながら、教育現場が委縮せずに著作物を利用できるこの制度は、進化し続けるICT教育の発展を促進するものとえます。今後も、より深い理解をもって学んでいきましょう。